

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年2月5日(2024.2.5)

【公開番号】特開2022-116718(P2022-116718A)

【公開日】令和4年8月10日(2022.8.10)

【年通号数】公開公報(特許)2022-146

【出願番号】特願2021-13034(P2021-13034)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月26日(2024.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の画像を表示可能な表示手段を備える遊技機であって、

前記複数種類の画像のうちの一つは、当否を報知可能な一組の装飾図柄であり、

前記一組の装飾図柄が表示される第1の演出と、

前記第1の演出の後、前記一組の装飾図柄が第1の方向に移動する第2の演出と、

前記第2の演出の後、前記一組の装飾図柄のうちの1つの図柄が第2の方向に移動して

視認困難になり、残りの図柄が前記第1の方向への移動を維持している第3の演出と、

前記第3の演出の後、前記残りの図柄のうちの1つの図柄が前記第2の方向に移動して

視認困難になり、残りの図柄が表示を維持している第4の演出と、

を実行可能な、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1]

複数種類の画像を表示可能な表示手段を備える遊技機であって、

40

前記複数種類の画像のうちの一つは、当否を報知可能な一組の装飾図柄であり、

前記一組の装飾図柄が表示される第1の演出と、

前記第1の演出の後、前記一組の装飾図柄が第1の方向に移動する第2の演出と、

前記第2の演出の後、前記一組の装飾図柄のうちの1つの図柄が第2の方向に移動して

視認困難になり、残りの図柄が前記第1の方向への移動を維持している第3の演出と、

前記第3の演出の後、前記残りの図柄のうちの1つの図柄が前記第2の方向に移動して

視認困難になり、残りの図柄が表示を維持している第4の演出と、

を実行可能な、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0009  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0011  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0013  
【補正方法】削除  
【補正の内容】

10

20

30

40

50